



旅立ちの春!



195名が巣立つ!

○3年間の学び舎と今日でお別れ!

195名の卒業生の皆さん、本日は誠にありがとうございます。とうとうこの日を迎えることになりました。3年間で振り返って、様々なことを思い巡らしていることと思います。ここ2年ほど、皆さんの大切な高校生活は、新型コロナウイルス感染症の影響に翻弄され、学習計画を乱されたり、スポーツや文化活動では目標としていた大会の中止や変更などに見舞われました。しかし、そんな中、皆さんは前を向き続け、特に今年は、最終学年ということで、一生懸命努力した年であったと思います。緊張した面接練習、何度も書き直した志願理由書、課外授業や個別指導を受けたこと等、今となっては良い思い出になっていることでしょう。進路決定ができたのは、家族、担任を初めとする多くの先生方、そして友人たちの助けがあつてのことです。皆の期待を裏切らないように、高校生活で学んだことや経験したことを基に、高い志を持って未来へ羽ばたいて欲しいと思います。皆さんの活躍に期待しています。尚、2月28日までの進路決定状況は以下の通りです。

★3年生の進路決定状況

	進 学 内 定 者				就 職 内 定 者			
	4年制大学	短期大学	看護学校等	各種・専門学校	公務員		民間企業	
総合型選抜 含む自己推薦	20	5	0	19	県内	県外	県内	県外
指定校制推薦	49	4	2	1				
公募制推薦	15	0	5	3	1	1	0	4
一般入試	34	0	10	2				
小計	118	9	17	25	1	1	0	4
総計	169				6			

○令和3年度の進路先内定概況について

<進 学>: 総合型選抜は9月出願で10月試験、推薦型選抜は10月出願で11月試験!

①4年制大学(84名)

本校は毎年約140名の大学進学者がいますが、おおよそ60%が文系学部、35%が理系学部、5%がその他(芸術・体育系)となっています。大学合格者の118名のうち、その約70%強が推薦及び総合型選抜による合格であり、一般入試での合格者は30%以下です。受験機会を増やすために、総合型選抜と学校推薦型選抜の2段階構成で臨んだ生徒も見られました。一般入試を避けて総合型選抜や学校推薦型選抜が中心であるという学校が増えており、本校もその例外ではありません。しかしながら、一般入試で取り組んだ生徒に比べて学力が低く、大学入学後に苦勞しているという話も多く聞きます。合格内定が出た後も入学するまでは、一般入試で勝負するつもりで真剣に取り組んでもらいたいです。一般入試で勝負できる学力を身に付けることが、本校の学力向上の目標です。大学進学をして目標実現を目指すのであれば、入試の方法が何であろうと必要な学力は身に付けなければならないのです。

②短期大学(9名)

短大合格内定者9名中、保育士を目指す生徒が4名、栄養士を目指す2名、ビジネス系コースが3名となっています。一般的に保育士や幼稚園教諭、栄養士、理学療法士や臨床検査技師(いずれも3年課程)を目指す人が多く、全員が女子です。学校にもよりますが、大学への編入を進めているところもあり、短大の過程が終わって就職をしないで、大学に編入する学生もいます。尚、医療系の学科に関しては3年制課程になっております。4年制大学に進学した場合よりも1年早く資格取得ができますが、カリキュラムはかなりきついとされています。3年間の学費総額と4年間の学費総額が変わらないケースもあります。

③看護学校（17名）

今年度はいわき市医療センター看護専門学校（旧共立高看）で11名（公募推薦3名、一般入試8名）松村看護専門学校で2名（一般入試2名）、横浜労災高等看護専門学校（院長推薦1・一般1）、千葉労災高等看護専門学校（院長推薦1）、亀田医療技術専門学校（公募推薦1）の17人となっています。特に、いわき市医療センター看護専門学校は、自宅から通うことができ、授業料も安いので、いわき市内の高校生で看護学校を希望する生徒の大半が目指しています。一般入試の科目は、国数英の3科目の他に小論や面接も加わります。特に英語がキーポイントになっています。将来、どこかでお世話になることがあるかもしれませんね。



④専修学校・各種学校等

本校では25名中19名が総合型選抜と自己推薦という形での合格であり、推薦4（公募3・指定1）、一般1に過ぎません。大半が2年制の学校ですが、学費の面では4年制大学と比べ、単純に半額という訳ではありません。むしろ、年度毎の費用は割高になってきています。総合型選抜で早期決定をすると、入学金一部カットや優先的に安くアパートに入れるなどの特典を売りにする学校もありますが、それに惑わされないで中身で学校選びをすることが大切です。



<就 職>：公務員は7月～8月に出願し、試験が9月より。民間企業は7月1日～求人票公開、試験は9月16日より。

⑤公務員

今年は公務員に2名合格しました。内訳は刑務官と福島県警です。公務員の対策は早期に始めるのが理想ですが、集中して取り組めば短期でも実力を養成することができます。いわき市内には、公務員の無料セミナーや短期集中のコース等もあり、上手く活用することがコツです。



⑥民間企業

本校の就職希望者は4人でしたが、皆自分のやりたいことにこだわって就職していたように思います。コロナ禍の限られた状況下でしたが、企業調べや見学、面接練習に毎日一生懸命取り組んでいました。次年度以降の求人もおそらくコロナの影響は避けられないと思われます。就職を考えている人は、早い段階で職種を決めて実際にどのような企業があるのか自分で研究することが必要です。



○一般入試の合格状況について

2月に入り、多くの人たちが私立大学の一般入試に臨んでいます。大学によって出題形式は異なり、それまでは中心だった共通テスト対策から切り替えて、個別の対策をしなければなりません。赤本を借りて何度も進路指導室を訪れる姿を見てきました。努力の結果が報われることを祈っています。尚、2月24日現在で、一般入試での合格者数は、延べ人数63人であり、今後も増えることが予想されます。また、国公立大学の一般入試にも約10人の3年生が受験しており、3月4日以降に合否が発表されます。こちらの方でも検討を祈りたいと思います。一般入試は、実力勝負の結果です。合格した人は、自分の学力が入学に値すると認められた訳ですから、自信を持って入学してほしいと思います。一般入試については、国公立の後期日程は3月半ばまで、私立大の一部も3月半ばまで続きますので、最後まで頑張ってもらいたいと思います。最後の最後で合格した生徒が一番喜びが大きいと思います。応援しています！

★4月からの新生活に向けて ～19担任団よりワンポイントアドバイス～

4月から新しい環境で生活するみなさんに19担任団より、アドバイスです。

阿部安広先生 ご飯を炊き、美味しい味噌汁を作れる人になって下さい。塩分は重量0.8%、味噌は大きさ(16g)あたり、約2gの塩分です。人との出会いを大切に、心身共に健やかにあれ！

石井慶子先生 大学等で同期との関係を築くのはもちろんですが、先輩とのつながりも大事です。いろいろな情報が得られますよ。例えばレポートの書き方のコツとかね！

高木ひろみ先生 自炊生活が始まる皆さん、食事がピンチの時は、もやし・豆苗・卵・鰹節・ツナ缶・麩つゆ・マヨネーズなどが強い味方です。ご飯やうどん、パンの耳、どんな主食にも相性◎です！

中根倫子先生 一般的には「スタートが肝心」、などと言われますが、大きく環境が変わる時こそ「最初から頑張りすぎない」「最初から多くを期待しすぎない」方が上手いくのかもしれない。

村上誠先生 病気になるまい健康でいること。病気になると治療費がたくさんかかります。(生活費は特に大事！)そのために、ちゃんとご飯を食べて、寝て健康に過ごしてください。



次回予告 第7号（今年度最終号）は1月15・16日の大学入試共通テストを振り返ります。1・2年生向けの内容であり、次年度に向けて、みなさんが春季休業中に成すべきことや、家族や担任の先生と話し合ってもらいたい内容について伝えたいと思います。発行は3月中旬を予定しています。また、3年生の先輩方の最終決定状況についてもお知らせする予定です。